



小中連携ウィーク

1月18日（月）から22日（金）の一週間、小中連携ウィークとして、小中学校の教職員が、お互いの授業を参観し合う取組を行いました。

この取組は、道志村の教育大綱や学校教育の指針にも掲げられた小中学校の連携を、より一層進めるために、小中学校の研究部からの提案で行った活動です。本校の一番の強みである小中一体型校舎の利点を最大限に生かすと共に、小中学校が互いの指導の良い点や児童生徒の発達段階などを理解し、すべての子供が義務教育9年間を一貫した指導方針の下に過ごせることを目的とした取組です。

本校の教職員の中で、小学校の授業を参観して、次のような感想がありました。

「（体育の授業）跳び箱の技を始める前に3つのポイントを子供から出させ、全体で確認することが良かった。跳び箱を跳ぶときに教員から一人一人の子供に、アドバイスや褒める言葉かけをしていて良かった。」

「聞く姿勢、書き終わりの姿勢、発表の仕方、拍手など規律があることや、発言しやすい雰囲気があること、落とし物を拾ってあげ合う関係づくりができていることが良かった。また、あまり挙手をしない子がチャレンジした後に、他の子供から「チャレンジいいね」という声かけがあり、感動した。」



財務教育

1月21日（木）に、3年生が財務教育についての学習を行いました。講師は、財務省関東財務局甲府財務事務所の職員の皆様でした。初めに、財務省の仕事内容の説明があり、国の予算をどのようにして作成しているかを学びました。その後、3つのグループに分かれ、「どのような予算を作成するか。そのために、歳入と歳出をどのように変更するか。」話し合い、発表しました。

「国の借金を減らそう」、「福祉と子育ての予算を増やし、公共事業を減らそう」、「農業を奨励しよう」などのいろいろな工夫が発表され、どのような国づくりを目指し、どこに重点をおいた予算づくりをするかについて、考えました。

生徒の感想は、「財政のことを知ることができた。」「グループで話し合い、予算を作ることろが楽しかった。」「国の借金を減らすことは、簡単ではないことが分かった。」などがありました。



いよいよ3年生の高校受験が始まります。生徒の健康管理の徹底をお願いします。